

WebObejects/EOFにおけるDB接続エラー の対処方法

WR

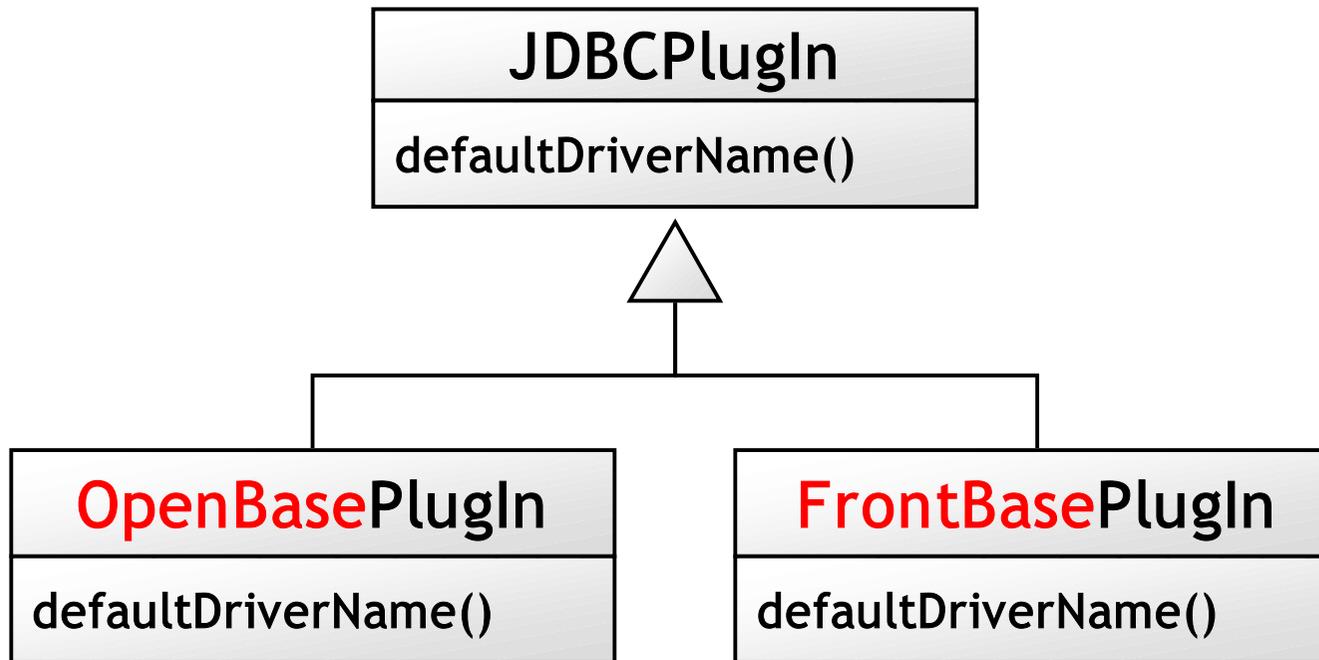
WR@Csus4.net

<http://www.csus4.net/WR/>

登場人物

- JDBCアダプタ
 - WebObjectsアプリケーションからJDBC経由でDBMSに接続する際に使用するアダプタ
 - `com.webobjects.jdbcadapter.JDBCAdapter`クラス
- JDBCPlugin
 - DBMS毎の差異(JDBCドライバ、SQLステートメント等)を吸収する
 - `com.webobjects.jdbcadapter.JDBCPlugin`のサブクラス
- JDBCドライバ
 - いわゆるJDCBドライバ

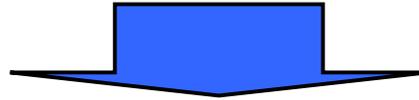
JDBCPlugIn



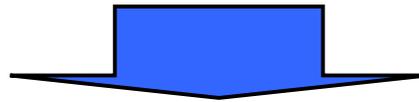
- DBMS毎にPlugInクラスが存在する
- PlugInクラスはJDBCPlugInのサブクラスである
- PlugInクラスはJDBCドライバのクラス名を指定する
 - `defaultDriverName()`

トラブルシューティングの順序

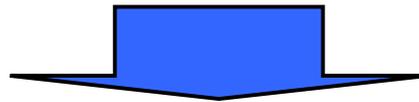
JDBCアダプタのチェック



Pluginのチェック



JDBCドライバのチェック



DBMS接続性のチェック

JDBCアダプタのチェック

- JDBCAdapter targetAdapter =
 (JDBCAdapter)
 EOAdapter.adapterWithName("JDBC")
- Nullの場合 失敗
 - JavaJDBCAdapter.frameworkがインクルードされていない！
- JDBCAdapterの場合 成功
 - Plug-Inのチェックへ

JDBC Plug-Inのチェック

- JDBCアダプタにConnection Dictionaryをセットして、適切なPlug-Inが作成されることをチェックする。
 - `jdbcAdaptor.setConnectionDictionary(conDic);`
`JDBCPlugIn jdbcPlugIn =`
`jdbcAdaptor.plugin();`
- jdbcPlugInのクラス名が
`com.webobjects.jdbcadaptor.JDBCPlugIn`の場合
DBMS用のカスタムPlugInが指定されていない
- JDBCPlugInのサブクラスの場合
各DBMS用のカスタムPlugInが指定されている
 - ex) `com.webobjects.jdbcadaptor.OpenBasePlugIn,`
`com.webobjects.jdbcadaptor.FrontbasePlugIn,`
`etc...`

JDBCドライバのチェック

- PlugInがセットされたJDBCAdapterからドライバのクラス名を取得し、インスタンス化
 - `Class jdbcDriver = Class.forName(jdbcAdapter.driverName())`
 - 注意) PlugInが適切にセットされていない場合、`driverName()`実行時に`NullPointerException`が投げられる。
- チェックポイント
 - クラス名が取得できているか?
 - クラスのロードがうまくいくか?
 - 失敗した場合、CLASSPATHかJRE拡張ディレクトリにJDBCがあることをチェックせよ。

DBMS接続性のチェック

- `JdbcAdapter.assertConnectionDictionaryIsValid()`
- 接続に失敗すると例外が投げられる
 - [2004-...] <...> A fatal exception occurred: Database SandBoxx not started on localhost.
 - [2004-...] <...>
`com.webobjects.jdbcadapter.JDBCAdapterException: Database SandBoxx not started on localhost.`
 - at
`com.webobjects.jdbcadapter.JDBCContext.connect(JDBCContext.java:244)`
- ありがちな原因
 - DBサーバのホスト名誤り
 - DBサーバ～APサーバ間のネットワーク到達性
 - データベースの名前誤り、ユーザ名誤り、パスワード誤り